

微生物・感染症研究分野で130年に渡り、世界を牽引

一般財団法人

日本パスツール研究所

×

大阪の研究機関との初の協定締結

国立研究開発法人

医薬基盤・健康・栄養研究所

連携協定調印式

9.20 Fri. 13:00~14:00

(受付開始時間 12:20)

会場:Link-Jライフサイエンスハブウエスト



日本パスツール研究所

常務・代表理事 アナワット・サクンタバイ

医薬基盤・健康・栄養研究所

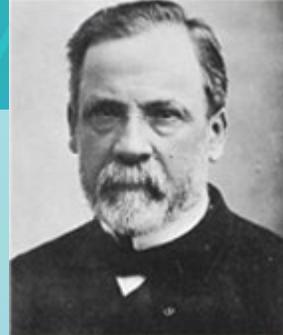
理事長 中村 祐輔

この度、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所(理事長:中村祐輔)と一般財団法人日本パスツール研究所(代表理事:アナワット・サクンタバイ)は、医薬品・ワクチン開発及び健康福祉の増進に関する協定(MOU)を締結することとなりましたので、お知らせいたします。日本パスツール研究所にとって初めて、大阪の研究機関と協定を締結することとなり、日本パスツール研究所の代表理事が来阪する貴重な機会ですので、ぜひお越しく下さい。

取材申込方法:9月19日(木)17:00までに、

氏名・所属・連絡先電話番号を書いて、Eメールで

医薬基盤・健康・栄養研究所 戦略企画部(pr@nibiohn.go.jp)へ



Louis Pasteur

## Institut Pasteur パスツール研究所とは

フランスの著名な科学者ルイ・パスツールが狂犬病ワクチンを開発したことをきっかけに、1887年に設立された非営利民間研究機関で、

**10人のノーベル賞受賞者**を輩出するなど、微生物学や感染症、ワクチンなどの**基礎・応用研究で世界をリード**しています。

これまでに、ニワトリコレラ、炭疽病、B型肝炎のワクチン開発のほか、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)の単離などを実現しました。

また、世界各地に30以上の研究拠点を設置し、国際的な研究ネットワークを構築しています。日本においても、2023年から、東京大学、京都大学、国立国際医療研究センター、熊本大学にパスツール国際共同研究ユニット(PIU)を設置し、国際連携の強化、スタートアップ支援、産学連携の促進などを図ってきました。

**2024年6月24日、日本拠点である「日本パスツール研究所 (Institut Pasteur du Japon)」を設立**し、◇感染症研究◇高齢化が免疫の働きやワクチンの効果に与える影響◇プラネタリーヘルス(地球環境と人間の健康の関係)を主要なテーマとして、アジアをはじめとする地球規模の健康増進に貢献することを目指しています。

近年、新型コロナウイルス感染症の経験から、感染症対策における国際連携の重要性が再認識されました。アジアでの戦略的な協力を拡大するにあたり、日本パスツール研究所はその中心的な役割を果たすこととなります。

### 数字で見る Institut Pasteur

**3.7億ユーロ** の予算 (2023年)

**3,032** 名のスタッフ (2023年)

**86** 国籍

**32** 研究支援施設

**142**

以下を含む研究体制

99の研究ユニット

12の5年ユニット

14の5年グループ

10の研究室

7の聴覚研究チーム